

平成30年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	2	学年・学科	1学年(全学科)
教科書	東京書籍「現代社会」 二宮書店「現代地図帳」		副教材	東京書籍「現代社会」・準拠ワークノート			

学習目標	<p>○人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めます。</p> <p>○現代社会の基本的な問題について主体的に考察し、公正に判断します。</p> <p>○人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てます。</p>
学習方法	<p>○学習内容をわかりやすく説明・板書します。また、学習プリントを活用しわかりやすい授業を行います。</p> <p>○グループワークや発表といった共同学習をとおして、学びあう活動をします。</p> <p>○主に復習として、ワークノートや問題プリントの演習に取り組みます。</p> <p>○小テストや定期考査によって、知識・理解および思考・判断・表現の力を試みます。</p>

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考査	考査以外
学習評価	a 関心・意欲・態度	現代社会の基本的問題に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度を身につけている。また、よりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしている。	前期中間	25 %	5	20
			前期末	25 %	5	20
			後期中間	25 %	5	20
			後期末	25 %	5	20
	b 思考・判断	現代社会の基本的問題から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って考察できる。また、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	前期中間	25 %	10	15
			前期末	25 %	10	15
			後期中間	25 %	10	15
			後期末	25 %	10	15
	c 技能	現代社会の基本的問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付けている。	前期中間	25 %	10	15
			前期末	25 %	10	15
			後期中間	25 %	10	15
			後期末	25 %	10	15
d 知識・理解	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。	前期中間	25 %	20	5	
		前期末	25 %	20	5	
		後期中間	25 %	20	5	
		後期末	25 %	20	5	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	第1部 わたしたちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境と資源・エネルギーについての問題と現状を学びます。 ・科学技術の発展と生命の現状と問題を学びます。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a: 環境問題や科学技術の発展など自分や人類の存続に密接な関係がある事象について、興味・関心を持つことができる。 b: 現代社会の特質や問題について考え、少数の意見にも耳を傾け、正義感を持って判断し、それを表現できる。 c: 情報化の進展が経過している中でそれに係る、様々な資料やデータを客観的に読み取り、特徴や傾向、予測される問題等を推測できる。 d: 私たちの生活と政治や国家とのかわりや、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	第2部 現代の社会と人間	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化の進展と生活について学びます。 	○		○	○		
	第1章 青年期と自己形成の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特質について学びます。 ・よりよく生きるとは何かを考察します。 	○	○	○	○		
	第2章 日本国憲法と民主政治	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治の成立について学びます。 ・基本的人権の成立について学びます。 	○	○	○	○		

